

一般質問



&



市のゆきえは

6月定例会、19名の議員が質問

市独自で教職員の

任用(雇用)可能に

三和郁子



問 先の国会で『国の補助金等の整理及び合理化に伴う義務教育費国庫負担等の法律』が一部改正(本年4月1日施行)された。

併せて、

- ①義務教育費国庫負担法
- ②市町村立学校職員給与負担法
- ③義務教育諸学校施設費国庫負担法

の3法が一部改正された。
②は、特区でしか認められていなかった教職員の自治体独自任用(雇用)

先進地域(特区)など研究し方向性検討

教育長

答 県費による教職員配置に加え、市独自で任用が可能となる。

教育担当』など、加配教員による予算措置の充実に努力している。

さくら墓園の園路・通路整備

問 ①墓所を区分して設けられている縦通路と最下部の半円形園路は土製であり雨でぬかるむ、特に車椅子通行や高齢者の方には不向きであり改善を。

②メイン通路の石畳通路の路面がデコボコであり、車椅子の方には衝撃が強く、また高齢者の方がつまずいて転倒する不安の指摘があるので改善を。

園路・石畳通路の改修検討

環境経済部長



小学校職員室

答 土庄設の園路、および石畳のメイン通路については、現在の景観を維持しながら、部分的な改修方法を検討する。

その他の質問

- ①情報公開・情報提供サービス
- ②介護福祉サービス
- ③新介護保険法の課題とその対応



縁石ブロックが突き出たバス停

保育園施設の安全と

今後の保育計画は

西本俊吉

問 保育園の安全と、今後の保育計画について。

①市内の保育園は、多くが昭和50年代に建設され、老朽化と手狭さを感じる。

園舎の耐震診断とその結果に基づく安全対策は。②現在市内の9園全体で、775名の定員に対し、787名と定員オーバー

来年度から調査を実施 受け入れ態勢の確立を図る

市民健康福祉部長

答 ①県の第三次地震防災緊急事業5カ年計画により、平成19年度から耐震診断を実施し、診断結果を踏まえ年次的に耐震化工事を実施する。

②待機児童は駅周辺の保育園に集中している。順次受け入れに向け取り組む。多様化する子育てニーズに対応すべきであり、



となり、さらに十数名の待機児がいる。今後の保育園受け入れ体制、施設の整備に関する計画、構想の見通しは。

私立での施設整備を支援する方針である。

バス停留場の安全対策を

重点施策として
整備を図る
都市建設部長

問 市内のバス停留場に、縁石ブロックが突き出している所がある。高齢者や障害者が安全に乗り降りできるように、乗降口までバリアフリーにするべきである。併せて待合スペースの確保を含む安全対策が必要である。改良工事の今後の計画は。

答 交通弱者の安全確保は、道路整備における重点課題と位置づけている。バス停留場の安全点検を再度実施し、乗降施設待合所のスペース整備について検討する。

10万都市野洲市にふさわしい玄関 づくり(野洲駅前再開発の推進)

藤村洋二

問 野洲市は5万人を突破、文字通り市となった。

しかし、住宅地は高齢化、商店も閉鎖されるなど日常生活品の購買もままならず困っている。

高齢者も地域で歩いて日常生活品が求められるべきであり、人口の増加策の推進による消費人口の増加が必要である。そ

まちづくり3法を 駅前の活性化に反映 都市建設部長

のため、早急な野洲駅前の全体整備を図るべき。市長の考えは。

①野洲駅前のA・Bブロックは定期借地で銭湯の運営がされているが、22年閉店後の市の対応は。
②野洲商工会地域振興委員会「野洲駅南口未利用地に関する提案」の評価。
③改正された「まちづく

答 ①A・Bブロックは、アサヒビル(株)所有地で、Bブロックは駐車場、Aブロックは10年の定期借地で「ほほえみ乃湯」。計画を立案するに至っていないが、いずれは計画立案の時期が来る。野洲市の玄関であり、アサヒビル(株)と周辺の市有地を含め大いに議論する。
②商工会地域振興委員会提案は平成17年度市策定の「JR野洲駅南口駅前

土地利用計画」で参考にしており、事業実施段階でこの提案を反映する。
③改正「まちづくり3法」は調整区域では大型店舗出店禁止、市街化区域商業系区域などに限定される。駅前の活性化の推進につながるまちづくりに反映させたい。
④アサヒビル(株)が自社開発の方針を転換されており、駅前開発には有効に作用するよう議論。



り3法」による影響は。
④A、Bブロックアサヒビル(株)用地だけでなく、JA、滋賀銀行、文化ホール駐車場も含めた再開発事業は。



J R 野洲駅南口

その他の質問

問 国語、読書の時間数の増は。

答 授業時間数は学習指導要領に則しているが、他の教科においても育てていきたい。